

飲酒運転撲滅大会を開催（平成 23 年 2 月 16 日）

平成 23 年 2 月 16 日（水）、「糟屋地区飲酒運転撲滅大会」（粕屋町・粕屋町交通安全協会・粕屋警察署主催）を、町内のイオンモール福岡ルクルで開催しました。

これは、2 月 9 日夜に粕屋町の町道で、歩行中の男子高校生 2 人が飲酒運転の乗用車にはねられ死亡するという痛ましい事故が発生したため、緊急に開催したものです。

大会には、粕屋町をはじめ糟屋地区の町関係者、交通安全協会員、安全運転管理協会、地域交通安全活動推進員ほかと粕屋警察署員など約 200 名が参加。

主催町である当時の篠崎久義粕屋町長、糟屋地区交通安全協会 田代昌己会長及び粕屋警察署 船石正彦署長のあいさつに続き、飲酒運転撲滅宣言、飲酒運転撲滅の啓発物資配布活動などを実施しました。

福岡県内で飲酒運転による事故に遭って複数の犠牲者が出たのは、平成 18 年 8 月に福岡市東区で発生した 3 児死亡事故以来です。

福岡県での飲酒運転事故の件数については、3 児が死亡した年の 650 件から 2 年後には半数以下の件数に減ったのですが、その後再び増加に転じて昨年の飲酒運転事故件数は 337 件で全国最多（ワースト 1）となりました。

福岡県内では、事故があった 9 日夜から 19 日夜までの 10 日間で少なくとも 17 人が逮捕され、その後も飲酒ひき逃げ事件などが起きています。

飲酒運転をしても自分だけは大丈夫と思う勝手にわがままな気持ちを捨てて、『飲酒運転は犯罪である』という意識や『飲酒運転撲滅』の強い決意を持って、犠牲者を増やさないようにしましょう。



啓発物資を配り飲酒運転撲滅を訴える
篠崎町長



飲酒運転撲滅大会の様子